

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



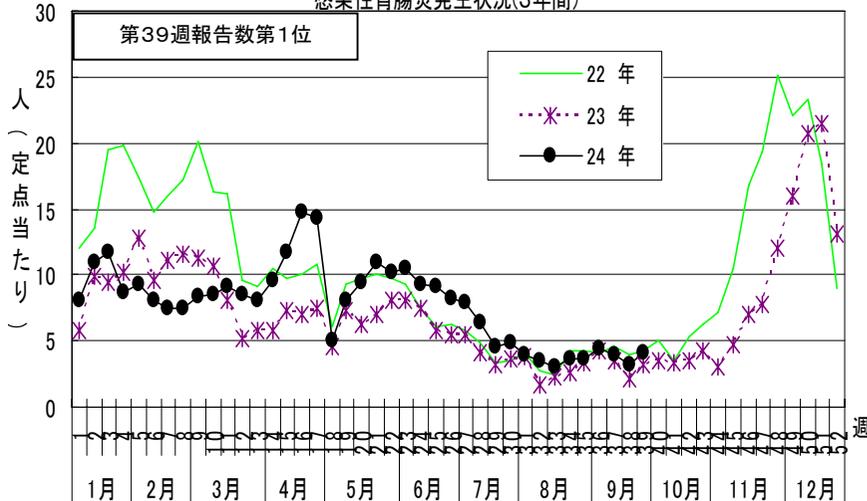
KAWASAKI CITY



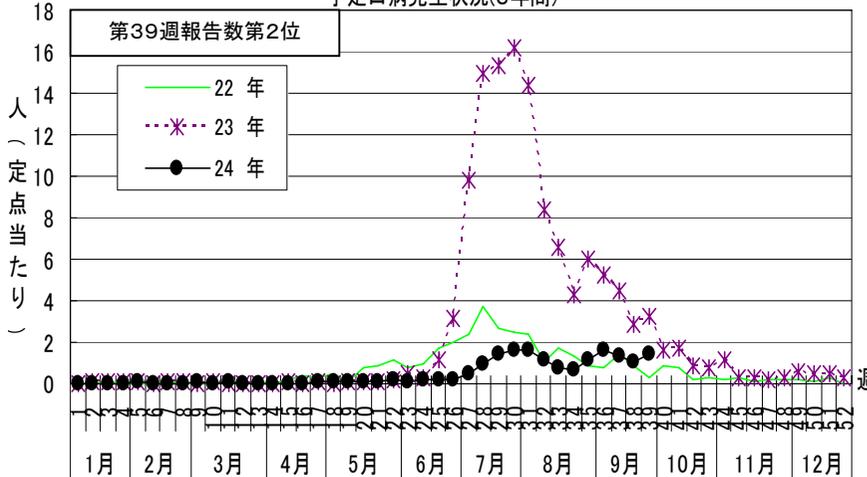
平成24年9月24日(月)～9月30日(日)〔平成24年第39週〕の感染症発生状況

第39週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり4.15人と前週(3.18)より患者報告数は増加し、例年よりもやや高いレベルで推移しています。
 手足口病は定点当たり1.39人と前週(1.06)より患者報告数はやや増加し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。
 腸管出血性大腸菌感染症の届出が2件(2件とも推定感染経路：経口感染、推定感染地域：国内)ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



今から注意しておきたい感染症～2012秋冬～

例年、秋から冬にかけて、次の感染症の流行が目立ちます。特に、RSウイルス感染症は、例年に比べ報告が多くなっています。今から感染症の特徴や予防方法を理解し、また予防接種を受けるなどして、感染症に負けないように準備しておきましょう。

①インフルエンザ

潜伏期間：18～72時間
 感染経路：主に飛沫感染
 症状：発熱・鼻水・咳・咽頭痛・頭痛など

②RSウイルス感染症

潜伏期間：2～7日間
 感染経路：飛沫・接触感染
 症状：発熱・鼻水・咳、重症では喘鳴や呼吸困難など

③感染性胃腸炎(ノロウイルス等)

潜伏期間：1～2日間
 感染経路：主に糞口感染、飛沫感染もある。
 症状：吐き気、おう吐、下痢など

これから注意したい感染症の予防対策



予防接種

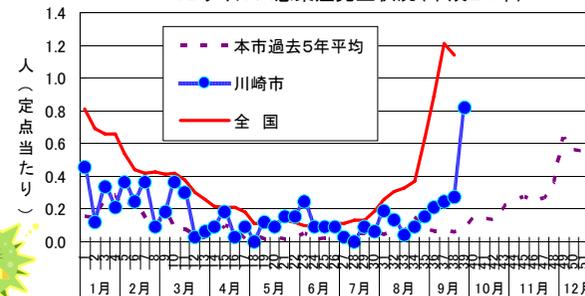
インフルエンザについては、ワクチン接種(任意接種)を受けることが、感染予防に非常に有効です。

手洗い・うがい・マスク

これらは感染症対策の基本となります。また、冬はウイルスの飛沫感染が多くなる時期ですので、マスクの着用が有効です。これらの感染症予防対策を徹底し、ウイルスに負けないように過ごしましょう。



RSウイルス感染症発生状況(平成24年)



上グラフのとおり、例年に比べて、RSウイルス感染症の報告が非常に多いため、今後の動向に注意が必要です。